

2017年9月29～10月1日 四日市東日本大震災支援の会 第46回派遣 熊本災害ボランティア 報告書

2017年11月20日
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

熊本では、震災から1年半ほどたちますが、まだ多くの方が仮設住宅での不自由な避難生活を強いられています。支援の会では、仮設住宅での生活を開始した約300世帯の皆さんのコミュニティづくりを支援する交流会を開催しました。

<活動概要>

■西原村仮設住宅でのお茶会&足浴交流会（A・D棟2か所の集会所で開催）

参加者18名

四日市大学学生5名・教員1名(ドライバー)、四日市看護医療大学6名、桑名高校生徒3名、卒業生2名(うち1名ドライバー)、一般社会人1名(ドライバー)

費用負担など

高校生・大学生12,000円（学生スタッフ6,000円、ドライバー0円）

★活動日の昼食・夕食を支給（その他の食事は各自負担）

★宿泊(素泊まり)；熊本県山鹿市山鹿1838「旅館巳喜(みき)」電話0968-43-5178

<スケジュール概要>

★9月29日(金)

20:00 四日市大学9号館集合（食事・入浴・歯磨きを終えて集合してください）

20:30 四日市大学出発（四日市大学バス停裏の職員駐車場）

★9月30日(土)

7:00頃～阿蘇地方の視察

10:00頃；仮設住宅到着

10:00～16:00 ボランティア⇒萌の里で土産購入⇒旅館巳喜 入浴&宿泊（夕食は旅館で支給）

★10月1日(日)

6:30 旅館出発 帰路 ⇒ 18:00頃大学帰着



お年寄りに、たくさん来場していただき、笑顔が溢れました。
足浴でリラックスしていただきます。



お茶会では四日市のお菓子を食べていただきました。
少しずつ、震災の話を聴かせていただくことが増えてきました。



西原村で調達した食事を堪能し、活動の事を振り返ります。
活動で初めて会った仲間と情報交換し、楽しい時間を過ごしました。